

# 梓川公民館報

## 第24回梓川女性フォーラム

### 「母、いわさきちひろを語る」

梓川女性団体連絡協議会の主催による梓川女性フォーラムが1月26日(土)に、梓川福祉センターを会場に開催されました。朝方までの降雪で足元が悪い中にも関わらず、沢山の参加者で会場が賑わいました。

まずは、アルパを楽しむ会により、アルパの演奏が披露されました。アルパは中南米パラグアイの民族楽器で、琴の様な美しい音色で参加者は音色に翻弄され聞き入っていました。また、演奏最後の曲「ふ



るさと」では、参加者全員で熱唱し会場のボルテージは最高潮になりました。

その後、休憩を挟み松本猛さんによる「母、いわさきちひろを語る」の講演が行われました。ちひろさんの絵の中には「季節」「時間」「匂い」「音」が入っており、その絵を見る楽しさを知ることによって想像力が拡がっていくことを教えてくれました。また、ちひろさんが生きた時代背景や影響を受けた人物、母との思い出を語ってくれました。

会場では、信州産の米粉

## 梓川流域の風景・文化・行事をテーマに 第18回信州梓川賞展

梓川流域の風景や文化、行事を描いた日本画、油彩画、水彩画などの作品を公募する「信州梓川賞展」が、2月11日(月)から3月10日(日)まで、梓川アカデミア館を会場に開催されました。

本年度は、318点の作品が応募され、一般部の入賞入選作品52点、小・中学生の部は、全応募作品256点の作品がギャラリーに展示され



希少な信州産の小麦粉など、信州産にこだわった加工品が販売され、多くの来場者が買い求めている姿が印象的でした。

ました。

梓川賞1点をはじめ、金賞、銀賞、銅賞、特別賞の入選作品は、初日の11日に表彰式が行われ、最高賞となる梓川賞には、「冬の朝梓川」を描いた安曇野市在住の松井二郎さん、また、金賞は「時は



満ちた」を描いた飯田市在住のしろたゆかりさんが受賞しました。審査委員長の小川稔市美術館長は「説得力のある画風の作品が多かった」と講評しました。

来場者は、清流梓川に育まれた風土や歴史をもとに、丹精込めて描かれた作品の思いや風景を思い描きながら、作品の世界に浸っている様子が印象的でした。

## 春の旅立ち

### 卒業式

3月15日 小学校卒業式

### 祝卒業

3月14日 中学校卒業式



### 「雪山を満喫！」 ファミリースキー教室

1月20日(日)野麦峠スキー場(松本市奈川)を会場に、梓川公民館主催のスキー教室が開催され、12組33名の参加者がスキーを楽しみました。

初心者、初級者、大人の3クラスに分かれて、参加者のレベルに合わせて、講師の方々が丁寧に指導されていました。初めてスキーを履いた参加者は、最初は慣れないスキーに苦戦していたものの、午後には一人でリフトに乗り、楽しそうに滑り下りてきました。また、初級クラスでは、講師を先頭に列になり、綺麗なターン弧を描いて、何本も滑り下りてくる様子がみられ、保護者の皆さんも子ども達の上達の早さに驚いていました。



### 町会の伝統行事、 南北条の新たな取り組み

私の暮らす南北条は、三十数世帯の町会です。そのうち、小学生の子を持つ世帯は、本年度はわずか3軒と、年々減少しています。こういった状況により、子どもを対象とした町会行事の伝承がこれまでと同様のやり方では難しくなってきました。

そこで本年は、区長・公民館長・育成会の協力を得て、子供行事だった三九郎と公民館行事の餅つきを合同で行うことにしました。餅つきは子ども達にとつて、貴重な体験になっただけでなく、現在ではほとんどの家庭



で餅つきを行っておらず、大人にとつても懐かしさとともに、思い出を語り、楽しむことができました。つきたてのお餅は格別で、豚汁もいただき、とても好評でした。

三九郎も、餅つきと同日に行つたことで、例年より地域の大勢の方に参加していただくことができました。今回の町会行事の新たな試み。地域の世代を越えた大人たちの姿から、子ども達が学び得たこと。そこそが大切な地域行事の伝承となるのではないかと感じました。今後も模索しながら地域行事を盛り上げ、伝承していきます。

### 災害に備えて 小室町会防災訓練

地震や異常気象などによる災害発生時の対応を確認するため、小室町会防災訓練が1月27日(日)小室公民館で行われました。

訓練は、松本広域消防局梓川消防署と松本市消防団36分団にご協力いただき、小室町会から、組長・婦人部・防災委員の約40名が参加しました。冒頭、佐原隆章町会長から「近年、大地震や豪雨災害など、様々な自然災害が発生している。小室は山に近い地域であ



## あずさっ子みもり隊 ボランティア募集

保護者、地域の中から「子どもを見守り、地域で子どもを育もう」ということに賛同していただけるボランティアの方々を随時募集しています。現在、約20の方が地域で活躍しています。

<b>目的</b>	交通事故、川の事故に子どもが巻き込まれにくい地区にすること。 不審者等が犯罪を実行しにくい地区にすること。 (=安心・安全のまちづくり)
<b>活動内容</b>	①見守り。学校通学時に通学路であいさつや声がけ。 ②身の周りで不審者(車)等を見つけたときは、警察への通報、学校へ情報提供。 <b>防犯パトロール、交通指導、補導はしません。</b> <b>『見守る』というスタンスでのボランティア活動です。</b>

**お問合せ 梓川公民館 TEL 78-3000**

り、災害に遭う可能性がある  
ので、日頃の備えが大切です」  
と挨拶があり、梓川消防署の  
方からは、「家  
族や自分の大  
切な人を守る  
ため、と考  
えて訓練に参  
加して下さい」  
と挨拶があ  
り、訓練を行  
いました。

まず、消火  
器による初期  
消火および救  
命処置(心  
肺蘇生とA E



D)の実技訓練、地震が起き  
た際の命を守る備えと退避行  
動を映像で学び、最後に包装  
食袋を使った  
炊き出し(ハ  
イゼックス)  
の実習と試食  
を行いました。  
災害はいっ  
発生するか予  
測できません。  
一人ひとりの  
大切な命を守  
るため、平時  
の備えの重要  
性を認識した  
一日でした。